

平成30年度租税教育実践事例（第6学年社会科）

登米市立錦織小学校

教諭 岩渕 安弘

1 単元名 「わたしたちの生活と政治」 ～小単元名「震災復興の願いを実現する政治」～

2 指導にあたって

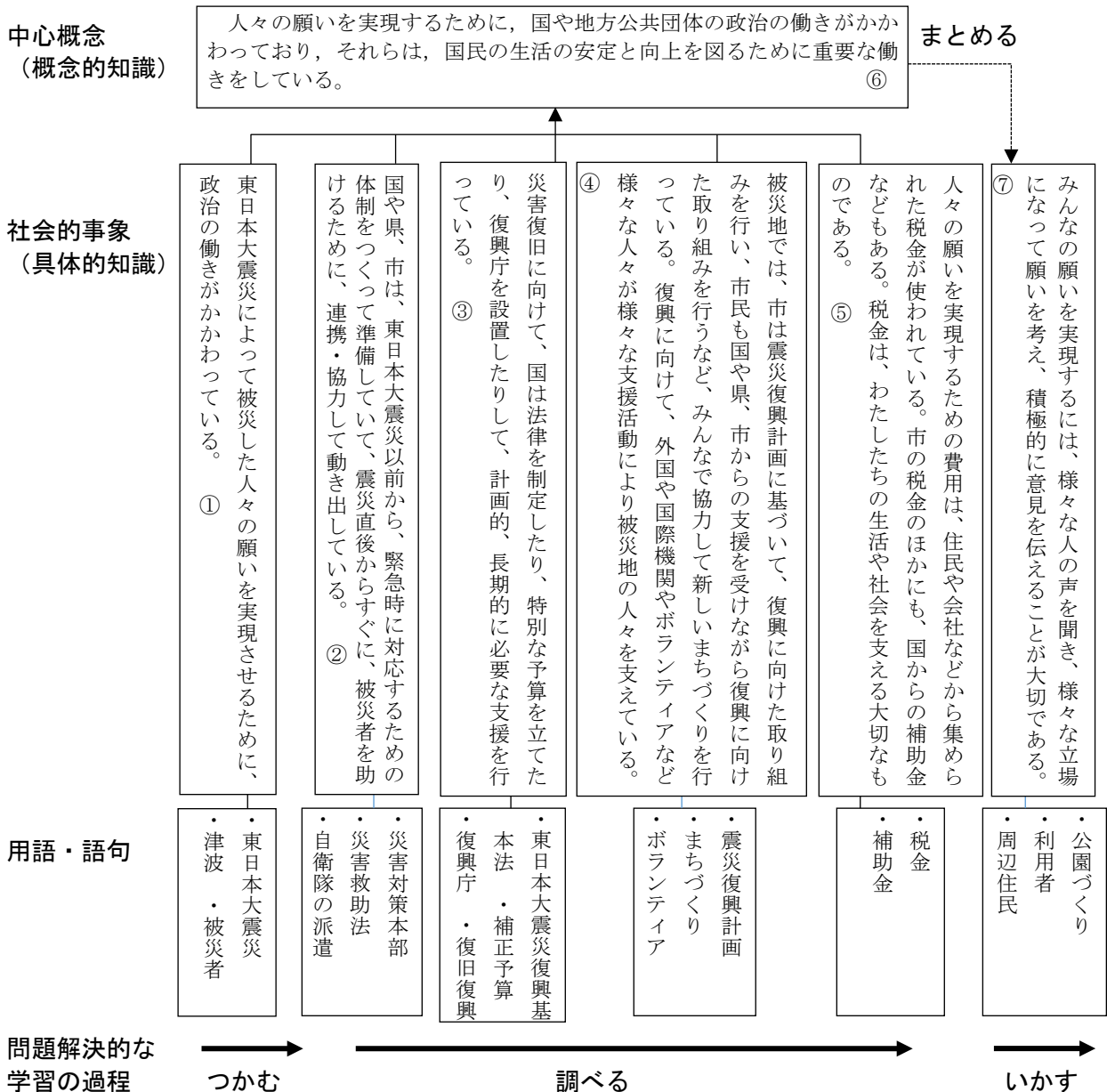
(1) 児童の実態（男7名，女7名，計14名）

児童は、歴史の学習において「租・庸・調」や年貢，地租改正などの税の存在について学んできた。現在でも，消費税など身近な税金があることは知っているが，それ以外の税金の種類を知らない児童が多い。税金が教科書等，みんなが使うところに使われていることは知っている。

(2) 指導の着眼

- ① 既習事項の「租・庸・調」や年貢，地租改正などの内容を想起させ，税が昔から存在したことや政治に必要なことを理解させる。
- ② 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ，税金の働きを理解する手掛かりとする。
- ③ 外部講師を招き，税の必要性について具体的に理解できるようにする。

(3) 知識の構造図（※図中の①～⑦は学習の順序を表す。）



3 学習計画（ 7時間扱い 本時5／7 ）

時間	ねらい	学習活動	評価規準【B】（評価方法）
1	○震災直後と1年後の写真などをもとに、願いを実現する政治の働きに関心をもつ。	① 震災直後としばらく後のまちや漁港の様子を比べて、気づいたことを話し合う。 ② 被災した人々の願いを実現するためにはどうしたらいいのか話し合い、学習問題をつくる。	【関】被害の大きさやまちの人々の願いについて関心をもち、願いを実現する政治の働きを意欲的に調べようとしている。
震災後、だれがどのように活動し、復興させてきているのだろうか。			
1	○震災が発生したとき、市や県、国は、どのような取り組みをしたのかを読み取る。	① 地震直後の市の取り組みについて調べる。 ② 地震直後の県の取り組みについて調べる。 ③ 地震直後の国の取り組みについて調べる。	【技】市や県、国の災害対応の取り組みについて必要な情報を集め、読み取っている。
1	○災害復旧に向けて、国は、どのような取り組みを行ったのかを調べて理解する。	① 災害復旧に向けた国の取り組みを調べる。 ② 災害からの復興に向けた国の取り組みを調べる。	【知】災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解している。
1	○災害復興に向けて、地方公共団体や国、外国や国際機関やボランティアなど様々な人々の働きを調べ、理解する。	① 災害復興に向けた市や市民の取り組みについて調べる。 ② 復興に向けたさまざまな取り組みについて調べる。	【知】災害復興への取り組みは、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを理解している。 【技】災害復興に向けたさまざまな支援について、必要な情報を集めて読み取っている。
1 （本時）	○人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。	① 外部講師の話から税金の必要性について考える。 ② DVDを見て、税金の必要性について知り、自分の考えを明確にもつ。	【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。
1	○調べてきたことを項目ごとに整理し、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを表現する。	① 調べてきたことを項目ごとに整理して、新聞記事を書く。 ② 学習を通して考えたことを「ことば」を活用しながら社説にまとめる。	【思】これまで調べたことを関連づけたり、総合したりして、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、表現している。
1	○みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解する。	① どのような公園がよいのか、自分の願いを出し合う。 ② いろいろな人の話を聞いて、ほかにどのような立場があるか、考える。 ③ 多様な意見をまとめていく方法について話し合う。	【知】みんなの願いを実現するには、様々な人の声を聞き、様々な立場になって願いを考え、積極的に意見を伝えることが大切であることを理解している。

4 本時の学習

（1）小単元名 「震災復興の願いを実現する政治」

（2）ねらい

人々の願いを実現するための費用は税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。

(3) 学習過程と学習の様子

段階	学習活動	学習の様子
つかむ	1 既習事項を想起し、本時の学習課題を確認する。 (1) 震災復興の予算は、どこから出るか予想し、税金の働きを理解する手がかりとする。 (2) 本時の学習課題を確認する。 税金の使い道を知り、必要性を考えよう。	 【外部講師の話を聞く】
調べる	2 外部講師の話から税金の必要性について考える。 (1) 知っている税金の名前を発表する。 (2) 税金の合計金額と、1億円のレプリカの重さを知る。 (3) 税金の使い道を知る。 ①税金が使われているものとそれ以外のものを予想し、カードを使って分ける。 ②税金が使われているものとそれ以外のものを確認する。 (4) 学校と税金の関係を知る。 教科書の裏を見て、小・中学校の教科書は、税金で支払われていることを知る。 (5) 自分だったら税金を支払いたいのか考える。 3 DVDを視聴し、税金の必要性について考える。  【「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を視聴する】	 【1億円のレプリカで、1億円の重さを知る】  【税金が使われているものとそれ以外のものを予想し、カードを使って貼り分ける】  【税金が使われているものとそれ以外のものを確認する】
まとめる	4 税金の必要性について考える。 (1) 税金を支払いたいのか自分の考えをもつ。 (2) 国民の三大義務を知る。 5 感想を発表し合う。 (1) 感想を書き、感想を発表し合う。 6 本時のまとめと次時の確認をする。	【知】人々の願いを実現するための費用は、住民や会社などから集められた税金が使われ、国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解している。 (カード・発言)

5 まとめ

- (1) 震災の復興の予算はどこから出るか考えさせ、税金が使われているという予想をもたせたことは、既習事項を本時のねらいにつなげる上で有効であった。
- (2) 外部講師の登米法人会の方のお話やDVD、具体物（1億円のレプリカ）を活用した学習は分かりやすく、児童は関心を持ちながら税金の意味と必要性を理解することができた。
- (3) 税金の必要性を理解させた上での「大人になったら税金を支払いたいのか」の発問は、社会参画意識を育てる上でも有効であった。

錦織小学校6年 学級だより

平成30年12月12日

雨ニモ負ケズ

租税教室

青山税理士さんに税金の大切さを教えていただきました。



1億円のレプリカに歓声



1億円（重さは本物と同じだそうです）を全員が持ちました。



税金が何に使われているか、黒板に分けて貼りました。



みんなが使うものには税金が使われていることを確かめました。



ビデオを見て、税金がなくなるとどうなるか、学習しました。

＜感想＞

- 税金があると、みんなの町を豊かにできることが分かりました。みんなが使っているものは、税金で行われていることが分かりました。
- 税金がないと、ごみを回収できなくなったり、信号機も使えなくなったりすることが分かりました。だから、みんなの生活には税金がなくてはならないものなんだなあと思いました。
- ぼくは、税金がないと、どうなるのか初めて知りました。なので、これからは、税金がどんなふうに使われているか、考えながら物を買ったりしたいです。